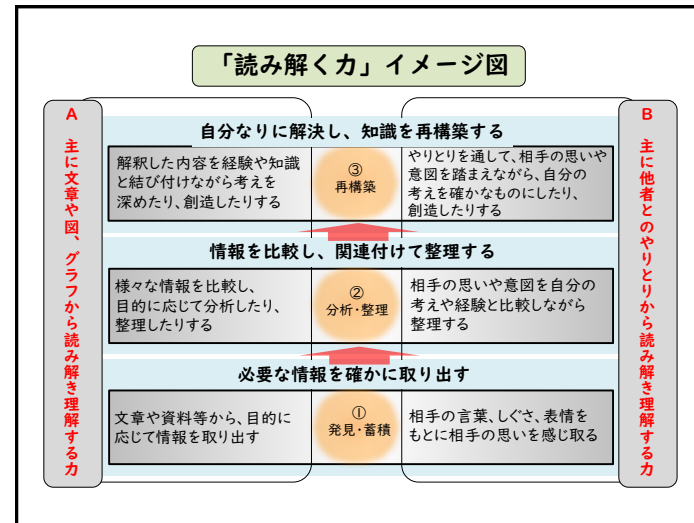


京都女子大学

「読み解く力」育成の視点を踏まえた授業づくりの具体的ポイント

京都女子大学発達教育学部
京都女子大学大学院発達教育学研究科
教授 水戸部 修治



子供が学ぶ必然性を実感できる学習過程(例)

③自分なりに解決し、知識を再構築する

- ・具体的な相手に向けて考えを発信・交流する
- ・学ぶ目的を基に学習を振り返る

↑

②情報を比較し、関連付けて整理する

- ・考えを形成したい、特徴を明らかにしたいなど、整理する目的を明らかにする
- ・発信を見通して、相違点や関連性を把握する

↑

①必要な情報を確かに取り出す

- ・学ぶ目的を自覚する
- ・課題の解決や再構築への見通しをもつ
- ・必要な情報を選択する

1、発見・蓄積のプロセスのポイント

○必要な情報を確かに取り出す

- ・子供たちが魅力を感じ、必要性や取り組む目的を実感できるめあて・課題を設定
- ・単元の導入までの手立て(布石や伏線)を丁寧に
- ・子供たちがより具体的に把握できるめあて・課題に

(例)「～考えよう。」→「～の理由を書こう。」

2、「分析・整理」のプロセスのポイント

○情報を比較し、関連付けて整理する

- ・目的に応じて、どの情報とどの情報とを比較するかを判断する
- ・発信を見通して、比較する観点を明らかにする
- ・情報を比較して、相違点や関連性を把握する
- ・考えを形成したい、特徴を明らかにしたいなど、具体的な目的に応じて、関連性を明らかにする
- ・発信・交流場面を通して、考えが十分整理できたかを振り返る

3、「再構成」のプロセスのポイント

○自分なりに解決し、知識を再構築する

- ・具体的な発信場面を設定し、学んだこと、獲得できたことを自覚できるようにする
- ・学んだことを、他の場面や状況の中で活用する学習を工夫する
- ・学んだこと、獲得できたことを、この後どの場面で生かしたいのを見通す
- ・学習のまとめが、断片的な知識の形で終わらないようにする

カリキュラム・マネジメントを生かした取り組み

(例) 12月に国語科で研究授業を行う。当日の授業では、自分の選んだ本の面白いところを自分の言葉で説明し合えるようにしたい。

→いつ頃までに、どのような準備が必要か？

- 12月までの物語文の単元配列を確認
- 必要な能力や学習をリストアップ
- 指導計画をスモールステップで具体化

日常的な対話・会話を取り入れた学習指導の具体的手立て

○各教科等の学習場面を生かす

(例) 算数: 解き方を説明し合う

社会: 資料を用いて発見したことを説明し合う

理科: 考察の場面で、仮説と実験結果を関連付けて、何が言えるかを検討

- 当該教科等のねらいに応じて、どんな言葉を用いればよいのかを蓄積していく

日常的な対話・会話を取り入れた学習指導の具体的手立て

○柔軟な話型を活用する

(例)私は・・・と考えています。わけは・・・だからです。→「わけ」を考え付けられない子は発言できない。どんな言い方が考えられるか？

○何のために話し合うのかを、子供の意識に即して自覚できるようにする

(例)自分の考えを、グループで交流しよう。
→書いたものを読み上げるだけ。どんな目的を持たせられるか？

日常的な対話・会話を取り入れた学習指導の具体的手立て

○学年の発達段階に応じた具体化

(例)低学年のペア学習

質的なアドバイス等による深まりをねらうのではなく、相手に向けて言語化していただくことで、徐々に自分の言葉にしていく

(例)高学年のグループ学習

まだはっきりしていない点や、意見をもらいたい点を持ち、協議によって明らかにしていく

感染症予防のための授業の具体的工夫例

①空間的な工夫

空き教室等がある場合、学級を2つに分けてグループ協議を行うなどの工夫

②学習形態の工夫

対話以外にも、書いたものを基に交流するなどの工夫

③指導方法の工夫

I C Tを活用して密になるのを防ぐ工夫

④教具の工夫

並行読書材等については一冊を決めて継続的に読む、いわゆる「マイブック」として取り扱うなど、教材・教具の工夫

⑤カリキュラム・マネジメントの工夫

対話やグループ協議については、各教科等の学習でも習熟させ、短時間で重点的に実施できるようにするなどの工夫